

ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel. (03)3551-6218
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

2001年(平成13年)7月5日 No.1197

目次

社長交替でガスプロムはどうなる……………	坂口泉 1
キーパーソン……………	9
ロシアで新燃料相と天然資源相を任命／9	
CIS諸国通貨の為替レート……………	9
ロシア向け貿易保険の引受方針変更について(日本貿易保険からのお知らせ)…………	10

社長交替でガスプロムはどうなる

はじめに 2001年5月末、ガスプロムの社長が交替した。長年社長を務め、ガスプロムの代名詞的存在であったビヤヒレフが退陣し、ミレルという業界では全く無名の人物が新社長に選ばれたのである。ミレルは、プーチン大統領のかつての部下であり、この人事にプーチン大統領が深く関与したことは間違いない。

本稿では、ビヤヒレフ退陣の背景、ミレル新社長に課せられた今後の課題等についての筆者の見解を述べてみたい。

1. ビヤヒレフ時代の終わり

(1) ガスプロムのオーナーは誰なのか

ガスプロム発表のデータによれば、2001年4月時点での同社の株主構成は、①ロシア連邦政府-38.37%、②ロシア法人-33.32%、③ロシアの自然人-16.81%、④外国法人-11.5%となっている(『石油ガス垂直統合』誌、2001.9)。ロシア法人の内訳は不明であるが、取締役会にガスプロムの幹部が数多く入っていることなどから判断して、その中に、ガスプロムの幹部の関連会社が相当数含まれていることは間違いない。

1993年末頃より1999年春頃までは、特別の契約に基づき、ロシア連邦政府保有の株式